

山岳 I・II 受験資格における登山経験・技術基準表（2018年～）

	山岳ガイドステージII	山岳ガイドステージI
山行日数	450 日以上（以下を含む） ・積雪期の標高 2500m 以上の経験が 180 日以上 ・連続する 3 日間以上の幕営山行が積雪期、無積雪期各 20 回以上 ・積雪期 3000m 以上の山を 10 峰以上	300 日以上（以下を含む） ・積雪期の標高 2000m 以上の経験が 100 日以上 ・連続する 3 日間以上の幕営山行が積雪期、無積雪期各 15 回以上 ・積雪期 2800m 以上の山を 10 峰以上
標高	3700m 以上の登山にて問題ないこと	3700m 以上の登山にて問題ないこと
岩壁登攀	<u>無積雪期</u> ・4 級マイナス以上を 20 本以上 ・5 級マイナス以上を 15 本以上 <u>積雪期</u> ・4 級以上を 20 本以上	<u>無積雪期</u> ・3 級マイナス以上を 10 本以上 ・4 級マイナス以上を 10 本以上 <u>積雪期</u> ・3 級以上を 10 本以上
フリークライミング	・トラッドルート（5.10c）、スポーツルート（5.11c）のレッドポイントが各 15 本以上 ・登山靴でIV級+まで確実にリードできる	・トラッドルート（5.10a）、スポーツルート（5.10a）のレッドポイントが各 15 本以上 ・登山靴でIV級-まで確実にリードできる
アイスクライミング	・80 度以上 40m 以上の氷壁を確実にリードできる ・上記を含む 3 ピッチ以上またはアイスルートの経験が 20 本以上	・70-80 度の 30m 程度の氷壁を確実にリードできる ・上記を含む 2 ピッチ以上またはアイスルートの経験が 10 本以上

注：

- (1) 無積雪期(6月～11月)、積雪期(12月～3月)、残雪期(4～5月)とするが、エリアにより考慮する。
- (2) 全て 12 年前までの記録とする。
- (3) ガイド登山、公募隊登山、指導者の元におけるクライアントとしての山行は含まない。
- (4) 岩壁登攀はルートの 50%以上をリードしていること。また同じエリアは 2 本までとする。
- (5) アラビア数字はルートグレード、ローマ数字はピッチグレード
- (6) 海外での岩壁・岩稜の登攀歴は内容により相当するものを判定する。